

北九州医療・介護連携プロジェクト会議 協議ルール

- 1 要望を言うための会議ではない。
課題を解決するために全員で議論し、作業を行う。
- 2 ポジショントークはしない。所属・団体の立場を離れ、
本人・家族にとって必要なことを議論する。
- 3 本会議で変えることができない制度や仕組み等については議論しない。
- 4 他者の意見を頭ごなしに否定しない。
否定する際は、代替案・補足などを提言する。
- 5 従来やり方に固執しない。組み合わせ、改善、便乗 歓迎。
- 6 「仕組み」と「継続」づくりを意識する。
- 7 会議ごとに最低限合意できたことを確認する(ピン留め)。
- 8 会議で意見が衝突しても、会議後に引きずらない。
会議の話は会議の中で完結させる。
- 9 会議で決まった後に、「実はこう思っていた」と言わない。
- 10 会議で行うと決めたことは必ず実行する。

0

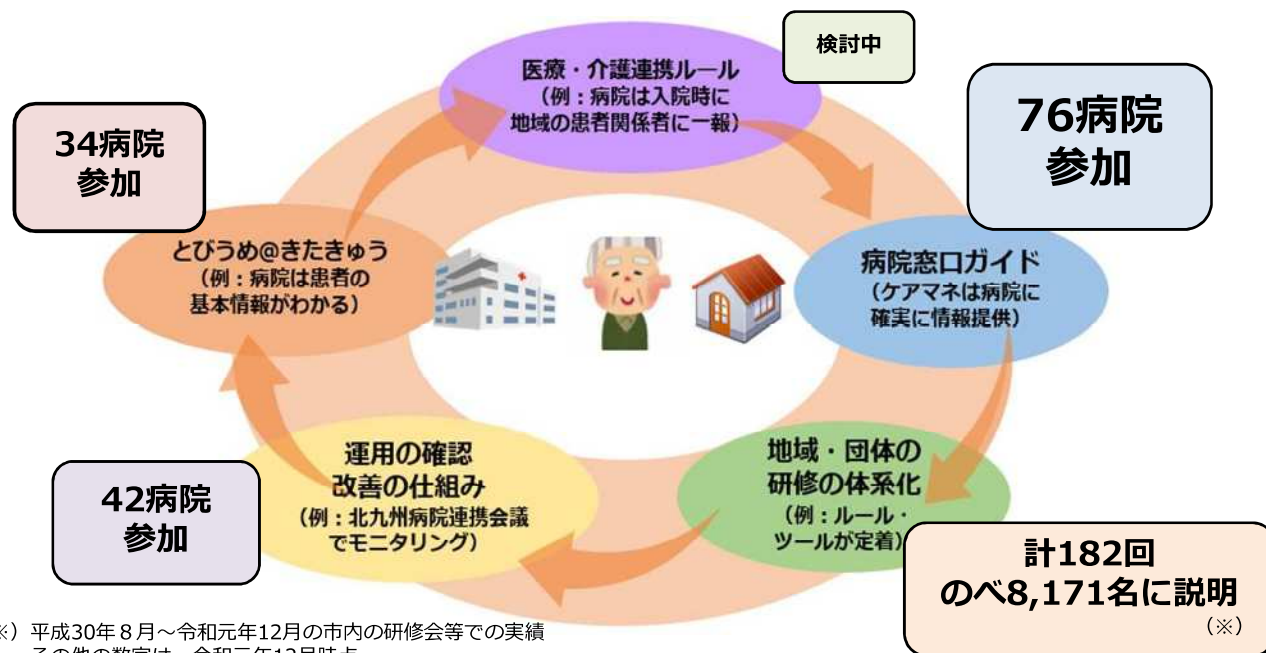


令和元年度第7回 北九州医療・介護連携プロジェクト会議

日時 令和元年12月16日（月）19：00～20：30
場所 北九州市役所 3階 大集会室



北九州医療・介護連携プロジェクト



みなさんの協力のおかげです！
この姿を早く作ってしましましょう！！

2

(1) 説明・周知状況

期 間	団体・機関	説明回数 (回)	説明者数 (人)
平成30年8月～平成31年4月	51	68	4,257
令和元年5月～令和元年9月	61	66	2,189
令和元年10月～令和元年12月	39	48	1,725
合計		182	8,171

(10～12月の説明先)

市医師会高齢社会対策委員会、市内複数病院、院内研修会（共愛会、佐々木病院）
とびうめ@きたきゅう説明会（病院、診療所、老健、特養、訪看、CM）
八幡東区・八幡西区自治総連合会、八幡東区・八幡西区民生委員児童委員協議会
市歯科医師会、八幡薬剤師会研修会、保健福祉局幹部会、区（地域包括C等）
北九州市病院連携会議、福岡県理学療法士会研修会、北九州ブロック介護老人保健施設協会、
ケアマネット21研修会、ケアマネ協会研修会 等

3

(2) プロジェクトへの協力状況

病院窓口ガイドについて

公表 **76病院** (うち、救急告示病院 **18/18病院**)

※残り 4 病院は年内に公表予定

とびうめネットについて

導入済 **34病院** (うち、救急告示病院 **16/18病院**)

八幡 **14/27病院** (うち、救急告示病院 **6 / 6 病院**)

北九州市病院連携会議について

参加 **42病院**

4

(3) 北九州市病院連携会議 ※設立 令和元年8月

【第4回企画部会】

日時 令和元年11月13日(水) 19:00~20:00

場所 製鉄記念八幡病院 管理棟 3階 第3会議室

内容 ・登録申出の設置や説明状況について
・北九州医療・介護連携ルールについて

【第5回企画部会】

日時 令和元年12月9日(月) 19:00~20:00

場所 戸畑共立病院 3階 セミナールーム1

内容 ・とびうめ@きたきゅうについて
・とびうめ@きたきゅう効果検証について
・北九州医療・介護連携ルールについて

5

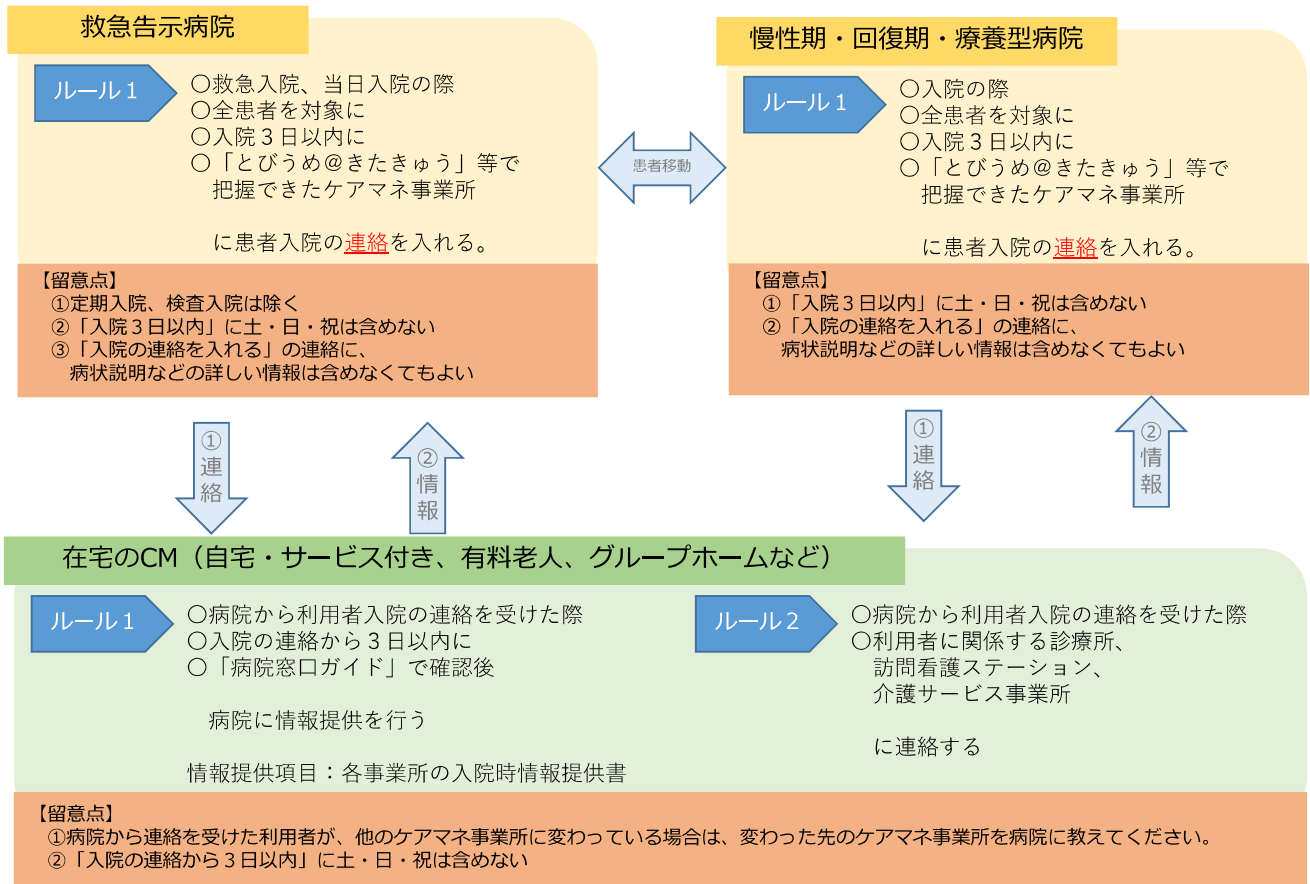
北九州市病院連携会議（参加42病院）

	門司(4)	小倉(13)	戸畑(4)	八幡・若松(21)
救急告示 病院 (16)	<ul style="list-style-type: none"> ・門司メディカルC ◎新小文字病院 	<ul style="list-style-type: none"> ◎健和会大手町病院 ・新小倉病院 ◎三萩野病院 ・小倉記念病院 ◎北九州総合病院 ・国立小倉医療C 	<ul style="list-style-type: none"> ◎戸畑共立病院 ◎戸畑総合病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業医科大学病院 ・正和中央病院 ◎JCHO九州病院 ・市立八幡病院 ・済生会八幡総合病院 ◎製鉄記念八幡病院
その他の 病院 (26)	<ul style="list-style-type: none"> ・市立門司病院 ・鳥巢病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州安部山公園病院 ・北九州小倉病院 ・あさひ松本病院 ・小倉リハ病院 ・霧ヶ丘つだ病院 ◎市立医療C ・大手町リハ病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸畑リハ病院 ◎戸畑けんわ病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州八幡東病院 ・折尾病院 ・浜田病院 ・正和なみき病院 ◎西野病院 ・芳野病院 ・萩原中央病院 ・新王子病院 ・産業医科大学若松病院 ・東筑病院 ・佐々木病院 ・香月中央病院 ・青葉台病院 ・八幡厚生病院 ・河内病院

※「◎」は企画部会の病院 6

（４）連携ルールについて

連携ルール（モデル案）



8

ルールの浸透のさせ方について

【病院】

- ・ 北九州市病院連携会議に参加している八幡地区の病院に個別に依頼
- ・ 院内事務室に掲示

【ケアマネ事業所】

- ・ とびうめ@きたきゅう登録申出書配付時に渡す
- ・ 各種研修会で配付
- ・ 事業所内に掲示

9

(5) とびうめ@きたきゅうについて

10

説明会を開催しました

病院

10月25日（金） 19:00～20:30 @ウエルとばた
参加者 25病院 50名

診療所

10月24日（木） 19:00～20:00 @八幡医師会館
参加者 29診療所 35名

訪看& ケアマネ

10月18日（金）・23日（水） 18:30～20:00
@ひびしんホール
参加者 137事業所 210名

特養・老健

10月28日（月）・29日（火） 14:00～15:00
@八幡西生涯学習センター
参加者 15施設 15名

11

ケアマネ・訪問看護の協力意向

令和元年10月18日・23日 とびうめ@きたきゅう

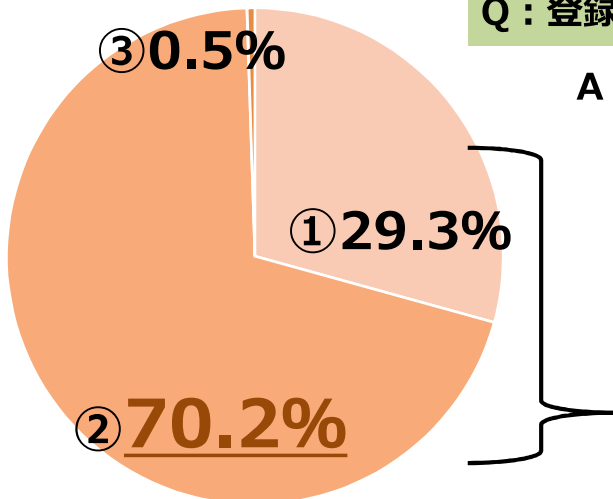
ケアマネ事業所・訪問看護ステーション向け説明会（137事業所・210名参加）

Q：登録申出書の配付・説明に協力いただけますか？

A（無記名アンケート回答（199名））

- ① 要支援・要介護認定申請時には、利用者に配付し説明していく
- ② ①のみならず、必要な利用者には日頃から積極的に配付し説明していく
- ③ 協力しない

協力意向：99.5%



12

令和元年10月18日・23日 とびうめ@きたきゅう
ケアマネ事業所・訪問看護ステーション向け説明会
(137事業所・210名参加)

ケアマネの模擬説明（デモンストレーション）

わしも「とびうめ@きたきゅう」に登録してみる！！

13

北九州とびうめネット連携事業（通称：とびうめ@きたきゅう）
モデル実施に関する調印式

日時 令和元年10月31日（木）10：30～11：00
場所 北九州市役所 4階 記者会見室
出席者 福岡県医師会長 松田 峻一良
北九州市医師会長 下河邊 智久
北九州市長 北橋 健治



14

とびうめ@きたきゅう
広報の状況

- 10月31日調印式開催 →朝日・毎日・読売・西日本新聞
- 11月15日号市政だより
- 11月20日号職員広報「ひびき」掲載
- 12月八幡東区・八幡西区民生・児童委員協議会での周知
- 12月八幡東区・八幡西区自治総連合会での周知
- 1・2月号アクティブシニア向け生活情報誌「さくら」に掲載
- 2月市政テレビ「あっぱれ！北九州」放映予定

15

効果的医療 展開目指す



北九州市は、高齢化が進む中、医療・介護のニーズが急増している。市は、効果的医療の展開を目指し、モデル事業を推進している。モデル事業は、在宅医療や地域医療の連携を促進し、患者の負担を軽減する。市は、モデル事業を通じて、効果的医療の展開を目指す。

西日本新聞・朝刊・20面
令和元年11月1日(金)

北九州市と県医師会、市区医師会 医療・介護の情報共有

北九州市は、高齢化が進む中、医療・介護のニーズが急増している。市は、効果的医療の展開を目指し、モデル事業を推進している。モデル事業は、在宅医療や地域医療の連携を促進し、患者の負担を軽減する。市は、モデル事業を通じて、効果的医療の展開を目指す。



毎日新聞・朝刊・21面
令和元年11月1日(金)

北九州市が試験運用

北九州市は、高齢化が進む中、医療・介護のニーズが急増している。市は、効果的医療の展開を目指し、モデル事業を推進している。モデル事業は、在宅医療や地域医療の連携を促進し、患者の負担を軽減する。市は、モデル事業を通じて、効果的医療の展開を目指す。

要介護者データ提供 治療時に活用

北九州市は、高齢化が進む中、医療・介護のニーズが急増している。市は、効果的医療の展開を目指し、モデル事業を推進している。モデル事業は、在宅医療や地域医療の連携を促進し、患者の負担を軽減する。市は、モデル事業を通じて、効果的医療の展開を目指す。

朝日新聞・夕刊・7面
令和元年11月2日(土)

病歴や介護情報共有

北九州市は、高齢化が進む中、医療・介護のニーズが急増している。市は、効果的医療の展開を目指し、モデル事業を推進している。モデル事業は、在宅医療や地域医療の連携を促進し、患者の負担を軽減する。市は、モデル事業を通じて、効果的医療の展開を目指す。

北九州市、登録呼びかけ

北九州市は、高齢化が進む中、医療・介護のニーズが急増している。市は、効果的医療の展開を目指し、モデル事業を推進している。モデル事業は、在宅医療や地域医療の連携を促進し、患者の負担を軽減する。市は、モデル事業を通じて、効果的医療の展開を目指す。

読売新聞・朝刊・31面
令和元年11月16日(土)

「とびうめ@きたきゅう」に登録 しませんか

本市では、市民一人一人が切れ目のない医療・介護サービスを受けることができ、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療と介護の連携を進めています。11月からモデル事業として、医療・介護・健診の情報の一部を、医療機関などの間で共有する診療情報ネットワーク「とびうめ@きたきゅう」がスタートしました。

丁寧なサポートを受けられる
医療機関などで共有される情報
緊急時の連絡先

- ①氏名・生年月日・住所・性別と緊急時の連絡先
- ②医療情報（医療機関名、病名、出された薬など）
- ③介護情報（要介護度、認定期間、担当ケアマネジャーの事業所名）
- ④特定健診（メタボ健診）などの結果
- ⑤その他、共有が必要な情報

※②④の情報は、国民健康保険や後期高齢者医療の加入者が対象

登録するメリット

- 登録者（高齢者など）の医療・介護・健診の情報が「とびうめ@きたきゅう」に参加する医療機関で24時間いつでも確認できる
- 緊急時に、医療・介護・健診の情報が医療機関に正しく伝わることにより、適切で迅速な治療につながる
- 退院時に、病院、かかりつけ医、ケアマネジャーなどが連携し、より

登録したいとき

登録には申出書の提出が必要です。登録などの相談は、かかりつけ医や訪問看護師、担当のケアマネジャーなどへ、全ての医療機関、介護事業所が登録を受け付けてはいます。

保健福祉局地域医療課 ☎582・2678へ。

北九州のアクティブシニア向け生活情報誌

さくら

2019年 11月 12月 vol.37

目帰りでも大満足の温泉&グルメ

北九州 歴史文化 石原京祐 新田開作の生涯
田崎村言「イベント情報」
手づくり市場「北九州2019 第4回 日専連マーケット」
さくら みんなで歌おうコンサート

シニアライフ応援

全国初! 北九州市で始まりました!!

登録した方の病名や薬などの情報を医療機関が見れるようになります。

とびうめ@きたきゅう

の登録が始まっています。

「色んな得意」ペスタクッキングで年々高齢シニアが専攻部門に力を磨き出した北九州は、年々と高齢者が増える中、北九州府民を地域医療の分野からサポートする事業が始まり、またまた注目されています。

登録すると、こんなメリットが!

【とびうめ@きたきゅう】に登録しておけば安心です。

●登録した結果が自動的に更新されます。
●とびうめ@きたきゅうに登録している病院・診療所・介護施設・診療所が登録された情報が見れます。

◎北九州府民でなければ登録できません。
◎詳しい内容は登録中出費をご確認ください。
◎登録中出費はとびうめ@きたきゅうに登録している病院・診療所・介護施設と八幡宮区及び八幡区にのみあります。(国体、八幡宮区・西区でモテたお祭りのため、1次は北九州市のケアマネジャー等に確認ください。)

登録中出費が無料、キャンセル料も無料
とびうめ@きたきゅう事務局 TEL:092-479-3809

●登録の申込み、登録の問い合わせは
北九州市保健福祉局地域医療課 TEL:093-682-2678